

新たなアイススケート場の整備に関する方針
(案)

相模原市

I はじめに

1 本方針について

新たなアイススケート場の整備に関する方針(以下「本方針」という。)は、本市に新たなアイススケート場を整備するに当たり、その必要性和整備に関する市の基本的な考え方及び方向性を示すものである。

2 銀河アリーナの廃止と民間アイススケート場の検討

令和3年4月に策定した相模原市行財政構造改革プラン(第1期)に基づき、銀河アリーナの公共サービスとしての必要性等を踏まえ検討した結果、施設を維持するためには改修及び維持管理に多額の費用を必要とし、銀河アリーナを公の施設として継続することは困難であることから、廃止を決定した。

一方、令和4年1月に実施した「市民意向調査」では施設の維持を希望する意見が約6割を超えていたことや、これまで積み重ねてきた銀河アリーナの功績を踏まえると施設や機能に一定の必要性が伺えることから、市民や利用者、オリンピックを目指すアスリートへの影響を考慮した結果、銀河アリーナの利用料金を改定した上で、運営期間を令和8年度末までとし、運営終了後は、公の施設としてのアイススケート場は設置せず、令和6年3月に策定した相模原市行財政構造改革プラン(第2期)において民間アイススケート場の設置の可能性を検討することとした。

3 民間アイススケート場実現可能性等調査の実施

令和6年9月から令和7年3月までの間、民間アイススケート場の設置及び運営の可能性について、事業者の意向や本市での実現性について幅広く調査するため、「民間アイススケート場実現可能性等調査」(以下「実現可能性等調査」という。)を実施し、同年4月に調査報告書を公表した。

4 市内での検討

実現可能性等調査に基づき、民間アイススケート場の設置の実現性について検討を進めた結果、公費負担を伴わない民設民営のアイススケート場の実現は困難との結論に至り、公の施設ではない民間アイススケート場の整備は断念することとした。

一方、改めて本市に根付いたアイススケート文化の意義について議論を重ね、新たなアイススケート場の必要性を整理する中で、民間活力を最大限活用し、一部公費負担する前提での公の施設の整備の方向性について検討することとした。

その際、市民等の意見を参考とするため、令和7年7月に「市民アンケート調査」及び「オープンハウス型説明会」を実施した。いずれの調査においても、民間活力を最大限活用し、一部公費負担による新たなアイススケート場の整備への肯定的な意見が多数を占める結果となり、更に整備地等の検討を進めることとした。

II アイススケート場の必要性について

1 本市のアイススケート文化

市立小学校が実施するスケート教室は、昭和39年から60年以上続く本市の特色ある事業である。

さらに、銀河アリーナが整備され、アイススケートがより身近なスポーツとして市民に浸透するとともに、競技力が向上し、トップアスリートも輩出している状況である。

(1) 銀河アリーナの利用状況

アイススケートの利用者数は、コロナ禍により一時的な利用者数の落ち込みはあったものの、現在はコロナ禍前の利用水準まで回復している。

プールの利用者数は、さがみはらグリーンプール(相模原市立総合水泳場)の供用開始もあり、平成30年度には、開館当時と比べ1/3程度の3万人弱までに減少した(プールは、施設老朽化により令和元年度から運営を休止している)。

トレーニング室の利用者数は、コロナ禍前の利用水準までは戻っておらず、約半分程度に留まっている。

新たなアイススケート場の必要性については、こうした銀河アリーナの機能や諸室の利用状況を踏まえ、効果的な活用につながるよう検討を進める必要がある。

(2) ショートトラックスピードスケート

銀河アリーナを拠点とする「相模原スピードスケートクラブ」は、強豪クラブとして知られ、これまでに4人のオリンピック選手のほか、世界選手権等トップレベルの大会に出場する選手を輩出している(現在、小学1年生～30代の40人が所属している)。

(3) アイスホッケー

銀河アリーナで活動している競技団体の約6割は、アイスホッケー関連の団体であり、小学生から大人まで幅広い世代が活動している。

2 新たなアイススケート場に対する市民等の意見

実現可能性等調査時に実施した「新たなアイススケート場に対するニーズ調査」において、市民の約6割及び市民以外の約9割は、銀河アリーナの利用経験がないが立地等によっては利用の可能性が高まるとの回答であった。

また、令和7年7月に民間活力を最大限活用し、一部公費負担する方向性の検討を行うに当たって実施した「市民アンケート調査」では、市民の7割以上はアイススケート場が市内にあることを「良いことだと思う」との回答であった。また、同趣旨で実施した「オープンハウス型説明会」では、582人の回答者のうち、公設民営での整備に賛成550人(うち市内在住者442人)、反対30人、どちらでもない2人と、当該整備への肯定的な意見が多い結果であった。

市民アンケート調査

実施時期 : 令和7年7月1日から21日までの21日間
対象者等 : 6歳以上の市内在住者を無作為で抽出した 3,000 人
回答数 : 654人(回答率)21.8%

小学生向けアンケート調査

実施時期 : 令和7年7月1日から14日までの14日間
対象者等 : 市内8校の小学5年生 約 800 人
回答数 : 774人(回答率)約 96%

オープンハウス型説明会

実施時期 : 令和7年7月11日から13日までの3日間
実施場所 : 相模原駅 相模原イツ 3階 エントランス(7月11日)
橋本駅 アリオ橋本 1階 グリーンエレベータ前(7月12日)
相模大野駅 ステーションスクエア 3階 アトリウム広場(7月13日)
回答数 : 582人

3 アイスクスケート場の方向性

相模原市行財政構造改革プラン(第1期)に基づき検討した結果、改修及び維持管理に多額の費用を必要とし、極めて厳しい財政状況の中では、市営で設置している他市の事例が極めて少なく、市の行政サービスとして一般性のない施設について事業を展開するほどの余裕がない等を理由とし銀河アリーナを廃止することとした。

一方、新たなアイスクスケート場の整備は、本市に根付いたアイスクスケート文化を継承する必要性の観点において、さがみはら都市経営戦略における「大都市としての役割・責任を果たしながら、不断の行財政改革を行うことで、自立的・効果的かつ持続可能な行政運営を推進し、都市や地域の活性化と魅力の向上に継続的に取り組む」という基本的な考え方に合致しているものである。

こうした状況を総合的に勘案するとともに、本市が持つ資源を最大限に活用した積極的な歳入の確保や事業の選択と集中による歳出の適正化、相模原市公共施設マネジメント推進プラン等に基づく公共施設等の見直しに継続的に取り組む視点は重要であることから、設備が老朽化し、運営面において非効率となった銀河アリーナの廃止の方針は変更せず、新たに「民間活力を最大限に活用することを前提」としたアイスクスケート場の整備の検討を進めることとした。

4 アイスクスケート場から得られる効果

- (1) 民間の知見も最大限活用し、冬季に限定されない運営や幅広い層に対応したスケート教室の実施など、市民を始め利用者にとって魅力あるスポーツ環境が提供できる。

- (2) 市民に根付いたアイススケート文化を継承することができ、シビックプライドの醸成につながる。
- (3) オリンピック選手やアイススケート団体の新たな活動拠点として、次世代のトップアスリート育成や子どもたちの夢の実現に寄与できる。

Ⅲ 新たなアイススケート場設置の計画上の位置付け

銀河アリーナのアイススケート場は、相模原市行財政構造改革プラン(第1期)に基づき、設備の老朽化により改修及び維持管理に多額の費用を必要とし、公共サービスとしての必要性等を踏まえ、公の施設として廃止を含めた検討を行った結果、現在の建物によるサービスの提供は、令和8年度で終了することとしている。

一方、相模原市行財政構造改革プラン(第2期)に基づき、本市に根付いたアイススケート文化を踏まえ、公の施設としての設置は行わない民間アイススケート場の検討をしてきたことから、現在、関連する計画にはアイススケート場が位置付けられていないため、新たなアイススケート場の設置に向けて、今後、関連する計画に位置付けるよう調整を進める。

IV 整備に関する考え方

本市には、アイススケート場が必要であり、民間活力を最大限活用することを前提とした新たなアイススケート場を整備する。

1 整備地の選定

- 整備地の選定に当たっては、実現可能性等調査の報告書を参考に、次の(1)から(4)までを整備地の条件とした上で、改めてメリット及びデメリットを整理した。
- (1) 整備地となる公園内の環境や面積等から設置可能な場所であること。
 - (2) できる限り早期にアイススケート場の供用開始ができること。
 - (3) 整備地となる場所の既存の利用者や周辺環境等に与える影響が少ないこと。
 - (4) 民間活力を最大限活用した整備が可能であること。

◆整備候補地一覧

優先順位	検討候補地	メリット	デメリット
候補地①	相模原麻溝公園 (相模原ギオンスポーツスクエア) 相模原麻溝公園 (スポーツ広場) 所在地:南区麻溝台	・比較的、住宅地から離れているため騒音等の影響が少ない。 ・相模原ギオンスタジアム等、他のスポーツ施設や麻溝公園との相乗効果が見込める。	・土日やイベント時における駐車場不足の懸念 ・スポーツ広場等の利用者等の対応 ・公共交通機関でのアクセスに難あり
候補地②	相模原北公園 (スポーツ広場) 所在地:緑区下九沢	・比較的、住宅地から離れているため騒音等の影響が少ない。	・駐車場の確保が困難 ・公共交通機関でのアクセスに難あり ・大型バスの通行などで周辺道路等の環境整備が必要となる可能性有 ・スポーツ広場の利用者等の対応
候補地③	鹿沼公園 (旧軟式野球場) 所在地:中央区鹿沼台1丁目	・駅から近くアクセス性が良い	・淵野辺駅南口まちづくり事業との整合を図る必要があり、供用開始までに時間を要する ・住宅が多く近隣住民へ騒音等の影響大 ・駐車場の確保や大型バス等の出入りが困難
候補地④	淵野辺公園 (銀河アリーナ跡地) 所在地:中央区弥栄3丁目	・駐車場が確保されている	・都市計画法の法的要件や国有地における国との協議等から供用開始までに時間を要する ・既存建物の撤去について整理が必要、解体工事に時間を要する ・国有地のため収益事業等に制限がかかる可能性など不確定要素がある
候補地⑤	小山公園 (スポーツ広場) 所在地:中央区小山4丁目	・駅から近くアクセス性が良い	・都市公園法の面積要件から建築不可 ・都市計画法などの法的要件から供用開始までに時間を要する ・スポーツ広場の利用者等の対応

2 最も有力な候補地

整備候補地一覧の5か所の都市公園を検討した結果、相模原麻溝公園における整備の優位性を確認し、同公園を最も有力な候補地とした。

3 利用者等の意見聴取

令和7年8月から11月までの間、相模原麻溝公園について、(公財)相模原市スポーツ協会(以下「市スポーツ協会」という。)を始め、利用団体等に新たなアイススケート場の整備の考え方を説明し、影響等について確認を行った。

いずれの団体も新たなアイススケート場を相模原麻溝公園に整備することに異

論はないが、現在、同公園内の施設で開催されている市民大会等の活動が継続できるように、当該施設の代替となる施設を同時に用意してほしいとの意見があった。

V 相模原麻溝公園内の整備地の検討

1 相模原麻溝公園内 2 か所の候補地の利用状況

(1) スポーツ広場

主な利用実績は、サッカーやラグビーなどの市民大会等での利用であり、年間の大会利用が77日で、そのうち41日が市スポーツ協会や各競技団体の協会が実施する大会等の利用であった。また、スポーツ広場は競技団体の大人の大会利用が主たる利用であったため、代替施設として大人の大会が実施できる広さのグラウンドが必要である。

市内のスポーツ広場や学校施設のグラウンドなどを代替施設として検討したが、年間77日(ほとんどが土日祝日の開催)を全て受け入れることが困難なことが分かった。

(2) 相模原ギオンスポーツスクエア(相模原麻溝公園グラウンド)

主な利用実績は、少年サッカーや少年ラグビーの大会や教室での利用であった。利用団体においては、必ずしも天然芝のグラウンドでの実施にこだわりがあるわけではなかったが、土のグラウンドでの利用は難しいため、人工芝グラウンドでの代替利用が必要であった。

市内の人工芝グラウンドは横山公園及び相模原スポーツ・レクリエーションパークの2箇所であるが、共にほぼ毎日利用があり、相模原ギオンスポーツスクエアの利用を受け入れることが困難であることが分かった。また、新たな代替グラウンドを直ちに整備可能な未利用地については見当たらなかった。



2 相模原麻溝公園内における整備地の再検討

「Ⅳ 整備に関する考え方」に基づき、既存施設の利用者への影響を軽減することなどを念頭に、相模原麻溝公園内で新たなアイススケート場を整備できる候補地を再検討した。一定程度の広さがある広場や駐車場に着目した結果、「第4駐車場」が最も整備可能な場所であった。

しかし、地元住民等の意見にもあった同公園内でイベントや大会等が行われた際の駐車場の充足状況の向上に寄与するため、新たなアイススケート場を整備することで減少する駐車台数をどの程度確保する必要があるのか、詳細な検討が必要である。



3 検討を踏まえた新たなアイススケート場の整備地の考え方

以上の検討の結果から、相模原麻溝公園内の第4駐車場を整備地とする。

なお、第4駐車場に新たなアイススケート場を整備した際の残地については、引き続き駐車場とし、当該駐車場のみでは充足できない駐車場所の確保については、自走式の立体駐車場の整備なども含め、今後、検討する必要がある。

4 事業手法

相模原麻溝公園の第4駐車場を整備地として、アドバイザー業務委託により検討する。検討に当たっては、本市のアイススケート場の今後の在り方を踏まえ、施設建設費の公費負担を軽減できるよう、民間活力を最大限活用し、かつ、特定財源を活用するなど一般財源の支出を抑えられる手法を検討する。

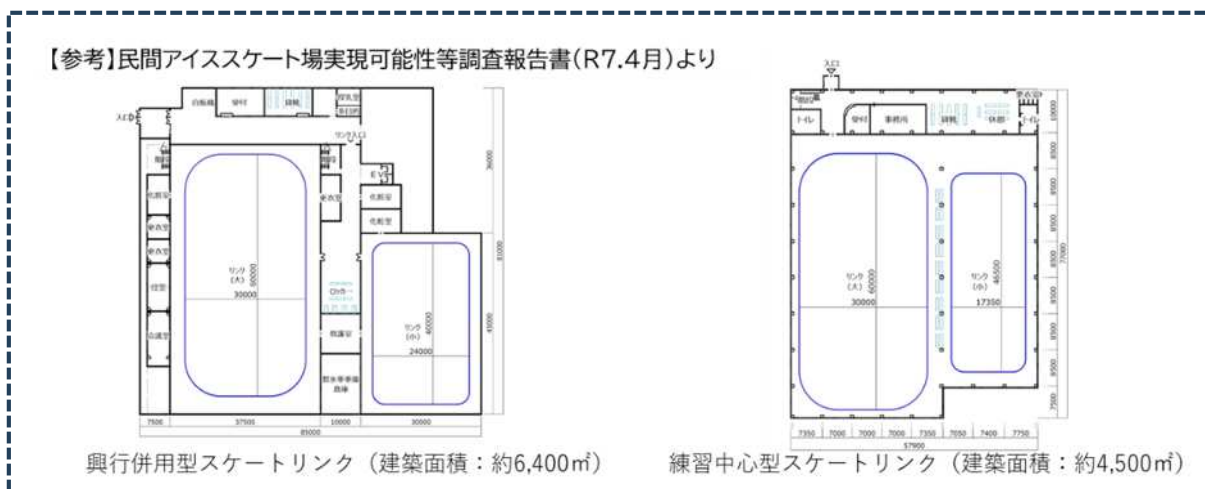
5 施設の規模・機能等

実現可能性等調査の報告書を参考に、アドバイザリー業務委託の中でサウンディング型市場調査等を行い、事業者の意向も踏まえ検討する。

検討に当たっては、「市民アンケート調査」の結果等を踏まえ民間活力を最大限活用するとともに、本市のアイススケート文化の継承の実現を念頭に進める。

6 検討の視点

- (1) 市民の利用を促進する。
- (2) 市立小学校等のスケート教室を実施しやすい配置とし、更衣室や会議室等の諸室を設置する。
- (3) 国際規格のメインリンク(30m×60m)とサブリンクを併設し、イベントや教室のための滑走スペースと自由滑走スペースなどを分けて運用するなど、安全性を確保するとともに自由度の高い運用の実現を図る。
- (4) 銀河アリーナでも利用の多い、ショートトラックスピードスケート及びアイスホッケーで試合や練習ができるよう、必要な設備を整えるとともに設備等の保管室を設置する。



VI スケジュール(想定)

現時点では、事業手法や規模等が決まっていないため、仮に事業手法をPFIとする場合には、実現可能性等調査における事業者ヒアリングの内容を参考に必要期間を考慮すると、供用開始は令和13年度中となるものと想定される。

なお、令和9年3月の銀河アリーナの廃止から新たなアイススケート場の供用開始までの間に、可能な限りアイススケート文化が途切れないよう、新たなアイススケート場の整備に向けた取組と並行して、アイススケート文化の継承につながる取組を検討する。

参考資料

1 これまでの経過

これまでの検討経過は、次のとおり。

時期	内容	備考
平成30年度	淵野辺公園内に通年利用のアイススケート場の整備について、適切な事業手法に関する市場性調査を実施	民設民営方式については、いずれの事業者も事業への参画は困難と回答 PPP/PFI方式については、複数事業者が関心を示す。
令和3年4月～ 令和6年3月	相模原市行財政構造改革プラン(第1期)	銀河アリーナの廃止を検討
令和3年7月～ 10月	銀河アリーナを改修し、独立採算による運営の可能性について、サウンディング型市場調査を実施	現在の建物を活用する独立採算での運営は困難と全事業者(4者)が回答
令和4年1月～ 2月	市民意向調査(アンケート調査)を実施 対象は、6歳以上の市内在住者 5,000人 回答率 50.1%	施設の維持を希望する意見が約6割を超えた。
令和5年3月	銀河アリーナの公の施設としての廃止を決定	民間アイススケート場の検討を開始
令和5年9月 市議会定例会議	条例議案可決	銀河アリーナを令和9年3月末に廃止
令和5年10月	市スケート協会への説明	民間施設の視察を踏まえた課題等を説明
令和5年7月～ 令和6年5月	民間施設への視察・ヒアリング	市外3施設に対して実施
令和6年4月～ 令和9年3月	相模原市行財政構造改革プラン(第2期)	民間アイススケート場の可能性を検討
令和6年9月～ 令和7年3月	民間アイススケート場実現可能性等調査の実施	令和7年4月に報告書を公表
令和7年5月	民間アイススケート場の設置を断念 公設民営の方向性について検討を開始	市スケート協会から市の対応方針に係る要望書を受領
令和7年7月	市民アンケート調査等の実施 ・市民アンケート調査 対象は、6歳以上の市内在住者 3,000人 回答率 21.8% ・小学生向けアンケート調査 対象は、8校の小学5年生約 800人 回答率約 96% ・オープンハウス型説明会:回答総数 582人 (市内在住 472人、市外在住者 110人)	・市民アンケート調査では、7割以上の方が市内にアイススケート場があることを良いことだと回答。さらに市が経費の一部を負担して整備することに8割以上が賛成と回答 ・小学生向けでは、9割以上の児童がスケート教室に行ってみて楽しかったと回答 ・オープンハウス型説明会においては、市が経費の一部を負担して整備することに市外在住の方を含め9割以上が賛成と回答
令和7年8月～ 11月	利用団体等(市スポーツ協会や地元自治会連合会等)へのヒアリングの実施	各団体とも新たなアイススケート場を相模原麻溝公園に整備することに異論はない状況であった。

2 各種アンケート調査の結果

新たなアイススケート場に関するアンケート調査等を次のように実施した。

(1) 実施した調査

- ア 新たなアイススケート場に関するアンケート調査
- イ スケート教室に関するアンケート調査
- ウ オープンハウス型説明会

(2) 各調査の概要

- ア 新たなアイススケート場に関するアンケート調査

項目	内容
対象者	6歳以上の市内在住者(無作為抽出)3,000名
調査期間	令和7年7月1日(火)から14日(月)までの14日間 ※ 7月11日(金)にお礼状を送付するとともに21日(月・祝)まで回答期限を延長
回答方法	調査依頼票に記載のURL(2次元バーコード)から Logo フォームにアクセスし回答
回答数	回答数 : 654人
回答率	回答率 : 21.8%

- イ スケート教室に関するアンケート調査

項目	内容
対象者	銀河アリーナを会場にスケート教室を昨年度実施した小学5年生
対象校	大沢小学校、相模台小学校、鶴の台小学校、橋本小学校、大野北小学校、くぬぎ台小学校、上溝南小学校、串川小学校の全8校
調査期間	令和7年7月1日(火)から14日(月)までの14日間
回答方法	調査依頼票に記載のURL(2次元バーコード)から Logo フォームにアクセスし回答
対象児童数	約800人
回答児童数	774人
回答率	約96.0%

ウ オープンハウス型説明会

項目	内容
令和7年7月11日(金) 午後4時～7時	中央区 相模原駅 相模原イツ 3階 エントランス
令和7年7月12日(土) 午後3時～6時	緑 区 橋本駅 アリオ橋本 1階 グリーンエレベータ前
令和7年7月13日(日) 午後3時～6時	南 区 相模大野駅 ステーションスクエア 3階 アトリウム広場
回 答 方 法	市内在住者と市外在住者を色分けし、回答者の年代の欄に「賛成」「反対」の該当する位置にシールを貼ることで回答
回 答 総 数	582人(どちらでもないとした市内在住者2人含む。)
賛 成 意 見	市内在住者：442人 市外在住者：108人
反 対 意 見	市内在住者：28人 市外在住者：2人

(3) 新たなアイススケート場に関するアンケート調査票

本市のアイススケート場に関する市の対応方針に係るアンケート調査

相模原市では、令和6年度末まで取り組んできた行財政構造改革プランに基づき、令和5年に老朽化による多額の改修費が見込まれることなどから銀河アリーナを令和8年度末（令和9年3月末）で廃止することとしました。

一方、銀河アリーナの継続を望む声やこれまでに培われたアイススケート文化の継承の必要性等から、市の経費負担が無い「民設民営」による新たなアイススケート場の設置について検討し、令和6年度には「民間アイススケート場実現可能性等調査」を実施しましたが、民設民営のアイススケート場の設置は困難との結果となりました。

こうしたことから、市では、この調査結果を踏まえて市が整備や管理運営等の費用の一部を公費で負担する「公設民営」によるアイススケート場の設置に向けて取り組むことについて、市民の皆様のご意見を参考に検討していきたいと考えています。

つきましては、趣旨をご理解いただき、ぜひ本アンケート調査にご協力くださいますようお願いいたします。

【あなたのことについて】

F 1 あなたのお住まいの区及び公民館区を教えてください

- | | | | | |
|----------|----------|-----------|-----------|-----------|
| 1 緑区橋本 | 2 緑区大沢 | 3 緑区相原 | 4 緑区城山 | 5 緑区津久井 |
| 6 緑区相模湖 | 7 緑区藤野 | 8 中央区小山 | 9 中央区星が丘 | 10 中央区清新 |
| 11 中央区中央 | 12 中央区横山 | 13 中央区光が丘 | 14 中央区陽光台 | 15 中央区大野北 |
| 16 中央区田名 | 17 中央区上溝 | 18 南区大野南 | 19 南区大野中 | 20 南区麻溝 |
| 21 南区新磯 | 22 南区相模台 | 23 南区相武台 | 24 南区東林 | 25 南区大沼 |
| 26 南区上鶴間 | 27 南区大野台 | 28 答えたくない | | |

F 2 あなたの年齢を教えてください

- | | | | | |
|---------|--------|--------|----------|-----------|
| 1 10歳未満 | 2 10歳代 | 3 20歳代 | 4 30歳代 | 5 40歳代 |
| 6 50歳代 | 7 60歳代 | 8 70歳代 | 9 80歳代以上 | 10 答えたくない |

F 3 あなたの性別を教えてください

- | | | |
|-----|-----|----------|
| 1 男 | 2 女 | 3 答えたくない |
|-----|-----|----------|

F 4 あなたは銀河アリーナを利用したことがありますか。

- | | | |
|-----------------|-------------|-------------|
| 1 1年に1回以上利用している | 2 利用したことがある | 3 利用したことがない |
|-----------------|-------------|-------------|

【^{あら}新たなアイススケート^{じょう}場^{かん}に関する市の^し対応^{たいおう}方針^{ほうしん}について】

^い以下の設問^かにご回答^{せつもん}いただく前に「^{ぎんが}銀河アリーナの^{はいし}廃止^{けいどう}の経緯^{けいり}等」を^{かくにん}ご確認ください。
アイススケート場に関する経緯の詳細はこちら

Q1 ^{さがみはらし}相模原市^しでは、市内^しの全小学校^{ぜんしょうがっこう}の授業^{じゅぎょう}として「^{きょうしつ}スケート教室^{じっし}」を実施^{じっし}していますが、このこと^しを知っていますか

- 1 知っている 2 知らない

Q2 ^し市内^しにアイススケート^{じょう}場があることをどう^{おも}思いますか

- 1 ^よ良いことだ^{おも}と思う (Q3へ) 2 ^{どちらともいえない} (Q6へ)
3 ^な無くても良い^{おも}と思う (Q6へ)

Q3 Q2で「1 ^よ良いことだ^{おも}と思う」と回答^{かいとう}した方^{かた}にお伺^{うかが}いします。あなたは、市^しが^{あら}新たなアイススケート^{じょう}場を整備^{せいび}する際に『市^しが^{けいひ}経費^{いちぶ}の一部^{ふたん}を負担^{おも}する』ことをどう^{おも}思いますか

- 1 ^{さんせい}賛成 (Q4へ) 2 ^{やや賛成} (Q4へ) 3 ^{どちらともいえない} (Q6へ)
4 ^{はんたい}やや反対 (Q5へ) 5 ^{反対} (Q5へ)

Q4 Q3で「1 ^{さんせい}賛成」「2 ^{やや賛成}」と回答^{かいとう}した方^{かた}にお伺^{うかが}いします。賛成^{りゆう}の理由^{なん}は何^{なん}ですか

- 1 ^こ子どもから^{こうれいしゃ}高齢者^{たの}まで楽しむ^{しせつ}ことができる施設^{しせつ}だから
2 ^し市のスポーツ^{しんこう}振興^{ひつよう}のために必要^{しせつ}な施設^{しせつ}だから
3 ^こ子どもの^{きょういく}教育^{かんしん}やスポーツ^{きょうみ}への関心^{かんしん}、興味^{きょうみ}につながるから
4 ^{みりょくこうじょう}市の魅力^し向上^しにつながるから
5 ^{むかし}昔^{しみん}から市民^{した}が親^{した}しんできた施設^{しせつ}だから
6 ^たその他^{くたいてき} (具体的に)

Q5 Q3で「4 ^{はんたい}やや反対」「5 ^{反対}」と回答^{かいとう}した方^{かた}にお伺^{うかが}いします。反対^{りゆう}の理由^{なん}は何^{なん}ですか

- 1 ^{りよう}利用^{ひと}する人^{かぎ}が限^{かぎ}られているため
2 ^し市のスポーツ^{しんこう}振興^{ひつよう}には必要^{しせつ}ない施設^{しせつ}のため
3 ^こ子どもの^{きょういく}教育^{かんしん}やスポーツ^{きょうみ}への関心^{かんしん}、興味^{きょうみ}には必要^{しせつ}ない施設^{しせつ}のため
4 ^{みりょくこうじょう}市の魅力^し向上^しにはつながらないため
5 ^{じょういがい}アイススケート^ほ場^ほ以外の施設^ほが欲しい^ほいため
6 ^たその他^{くたいてき} (具体的に)

Q6 あなたは、アイススケート^{じょう}場^しが市内^しにあると^{りよう}利用^{かのうせい}する可能性^{かのうせい}がありますか

- 1 ^{りよう}利用^{りよう}する (Q7へ) 2 ^{りよう}利用^{りよう}しない (Q8へ)

Q7 Q6で「1 利用する」と回答した方にお伺いします。利用する場合はどなたと利用しますか
(いくつでも)

- 1 家族(子ども連れ) 2 家族(子ども連れではない) 3 友人
4 部活動やスポーツクラブの仲間 5 一人で利用する 6 その他(具体的に)

Q8 アイススケート場を整備すると地域にどのような影響があると思いますか

- 1 市内外から利用者が訪れることで賑わいにつながると思う
2 子どもから高齢者まで利用できる施設であるため、地域の運動習慣や健康づくりに貢献する
3 騒音や交通量の増加が心配である
4 財政負担が市の他の取組に影響すると思う
5 特に影響はないと思う

Q9 アイススケート場の「公設民営」による整備に対しどのようなことを重視しますか(3つまで)

- 1 市の負担が出来るだけ抑えられるようにすること
2 施設が安全、安心に利用できること
3 より良いサービスが提供されること
4 公共施設としての信頼性があること
5 周辺施設と比較して利用しやすい料金設定であること
6 受益者負担など施設の整備や運営に必要な費用から決定された料金設定であること
7 民間の柔軟性や効率性などのノウハウが損なわれないようにすること
8 特定の人たちだけが使うことが無いように施設の公共性の確保

Q10 各設問で書ききれなかったアイススケート場に関するご意見等がございましたら、ご記入ください。

【銀河アリーナ廃止の経緯】

令和6年度末まで取り組んできた行財政構造改革プランに基づき、令和5年に
老朽化による多額の改修費が見込まれることなどから銀河アリーナを令和8年度
末(令和9年3月末)で廃止することとしました。

一方、銀河アリーナの継続を望む声やこれまでに培われたアイススケート文化
の継承の必要性等から、市では、市の経費負担が無い「民設民営」による新たな
アイススケート場の設置・運営の可能性について検討し、令和6年度には「民間ア
イススケート場実現可能性等調査」を実施しました。

【民間アイススケート場実現可能性等調査】

市の公費負担の無い民間主導によるアイススケート場(民間アイススケート場)
の設置・運営の可能性について、他のアイススケート場の整備や運営を担ってい
る民間事業者へのヒアリングやアイススケート場の整備候補地についての様々な
角度からの調査を行い、事業収支のシミュレーションを実施しました。

その結果、銀河アリーナを基準とすると、通年の民間主導によるアイススケート
場となるメリットがあり、収入も多く見込まれた一方で、最近の資材等の建設費
や人件費が高額となっている影響から支出が多く見込まれ、独立採算型の民設
民営の実現は困難であることが判明しました。

調査結果に関する市ホームページ 該当ページ

<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kankou/sports/1026689/1032980.html>

【アイススケート場に関する経緯】

銀河アリーナについて

・施設の概要

銀河アリーナは、1年を通じて気軽にスポーツを楽しむことができる場として、冬はアイススケート場、夏は水泳プールとして利用できるスポーツ施設として整備しました。

（施設の基本情報）

施設名	銀河アリーナ	
所在地	相模原市中央区弥栄3-1-6 (淵野辺公園内)	
開設年月	平成3年1月	
構造	鉄筋コンクリート(一部鉄骨)造 4階建て	
建築面積	4,693.67 m ²	
延床面積	10,838.38 m ²	
主な施設	アイススケート場	メインリンク：60m×30m
		サブリンク：18m×14m
		観覧席：1,242席
	トレーニング室	292 m ²
その他	事務室、会議室、売店等	

銀河アリーナの利用料金、利用時間等

（一般利用）

区分	利用料金(1回)	貸し靴(1回)	利用時間等
大人	1,200円	500円	10/20~5/6 8:30~19:45
中人(19歳未満)	900円	500円	
小人(中学生以下)	650円	300円	

せんようりよう
(専用利用)

くぶん 区分	りようりようさん 利用料金(1時間)	りようさかんと 利用期間等
しみん 市民	21,200円	10/20~5/6
しみんいがい 市民以外	25,700円	8:30~19:45

※ 利用者がイベント・大会等でお金を取る場合は、2倍の料金がかかります。

とくべつせんよう
(特別専用利用)

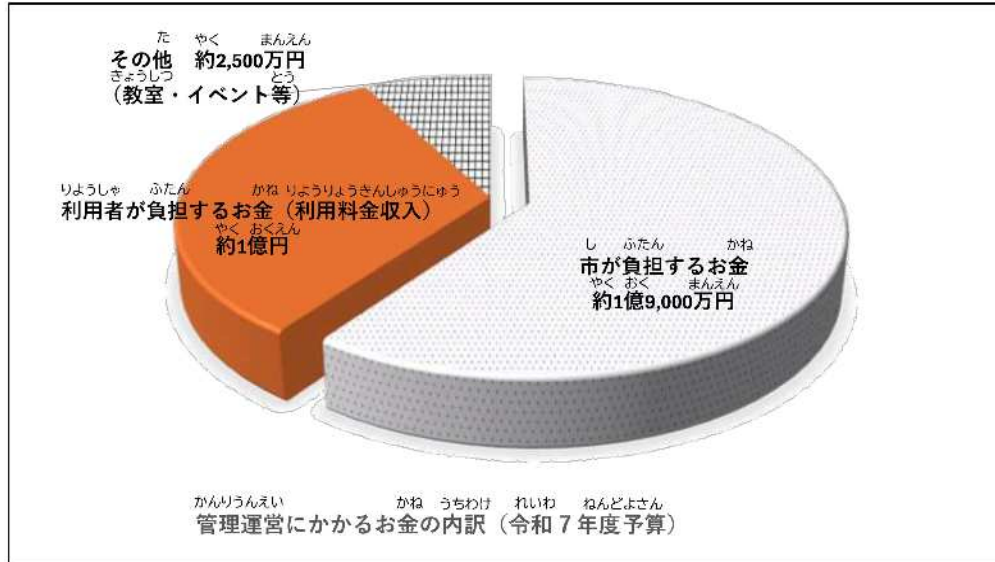
区分	6:00~	7:15~	20:00~	21:45~	23:30~	25:15~
	7:00	8:15	21:30	23:15	25:00	26:45
しないだんたい 市内団体	21,200円		31,800円			
しがい 市外団体	25,700円		38,550円			

ぎんが
銀河アリーナの施設利用状況

ねんど 年度	スケートリンク	トレーニング室	ごうけい 合計
令和3年度	99,778人	11,992人	111,770人
令和4年度	126,476人	21,243人	147,719人
令和5年度	114,739人	24,722人	139,461人
令和6年度	108,226人	26,238人	134,464人

※ 令和3年度は、コロナ感染拡大防止のため、施設の閉鎖や利用人数を制限している期間あり

さんが かんり うんえい
銀河アリーナの管理・運営



さんが ろうきゅうが かだいとう
銀河アリーナの老朽化の課題等

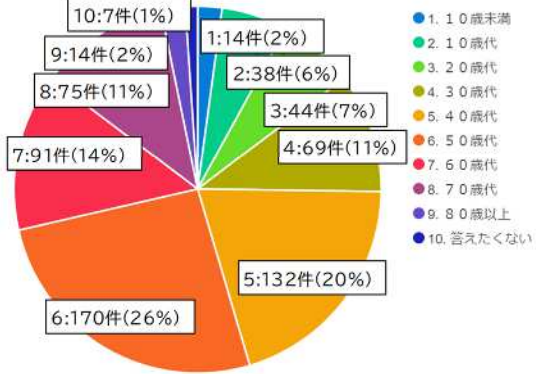
築30年以上が経過し、設備の老朽化等により、アイススケート場は令和元年度から、施設外付け(仮設)の冷凍設備による運営を行っています。

さらに、施設の天井等の改修に令和4年度時点の積算において約8億円の費用が必要なが分かりました。

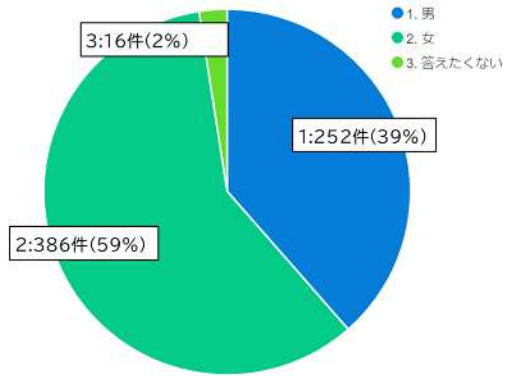
また、水泳プールとアイススケートリンクの切り替えに、毎年約2,100万円のお金がかかっていることや、グリーンプールなど、市内のプールが増えたことにより、銀河アリーナ水泳プールの利用者は開設当初の3分の1以下に減少していることから、令和元年度より、水泳プールは休止しています。

(4) 新たなアイススケート場に関するアンケート調査 回答結果

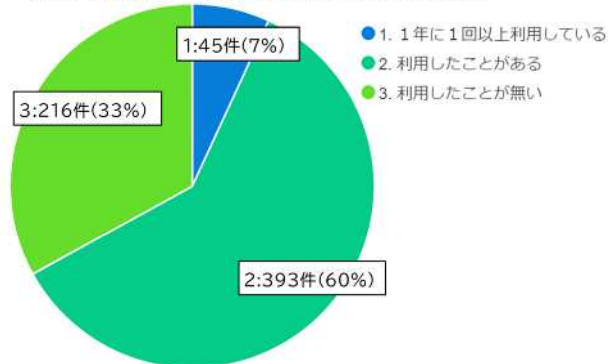
あなたの年齢を教えてください。



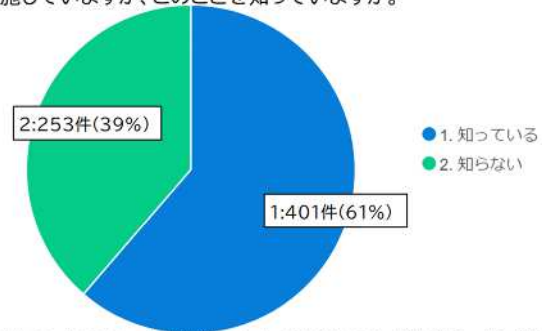
あなたの性別を教えてください。



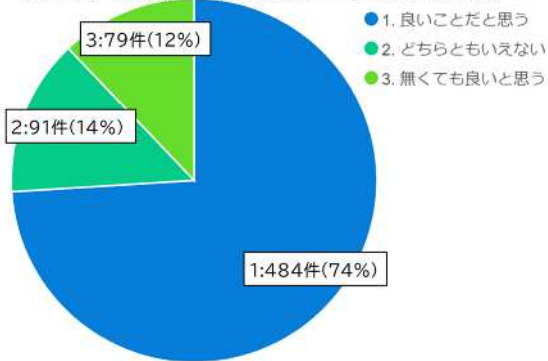
あなたは銀河アリーナを利用したことがありますか。



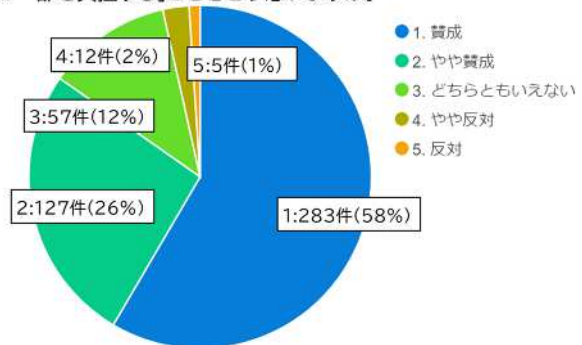
相模原市では、市内の全小学校の授業として「スケート教室」を実施していますが、このことを知っていますか。



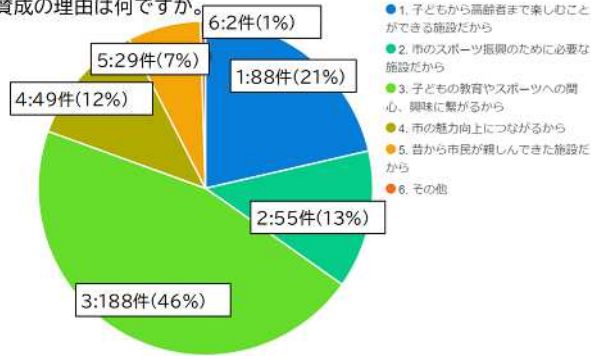
市内にアイススケート場があることをどう思いますか。



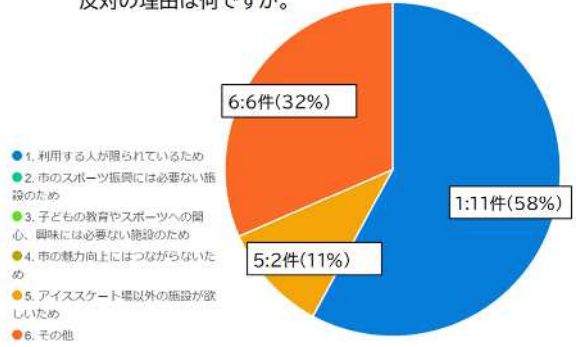
市内にアイススケート場があることを「良いことだと思う」と回答した方にお伺いします。あなたは、市が新たなアイススケート場を整備する際に「市が経費の一部を負担する」ことをどう思いますか。



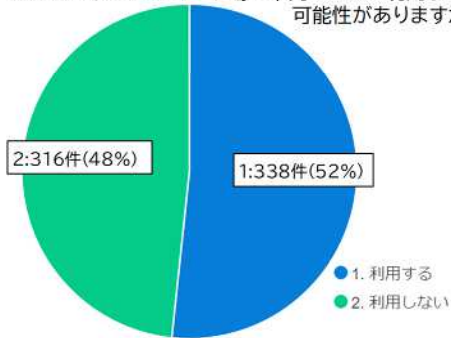
市が新たなアイススケート場を整備する際に「市が経費の一部を負担する」ことに「賛成」「やや賛成」と回答した方にお伺いします。賛成の理由は何ですか。



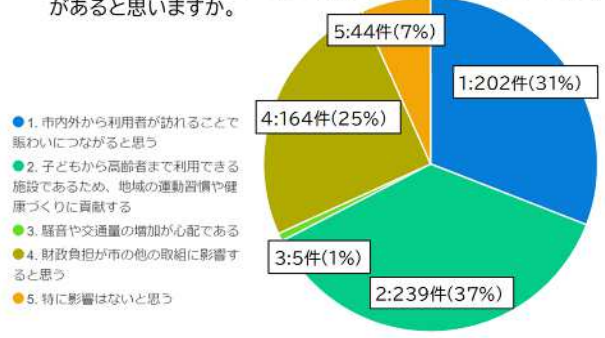
市が新たなアイススケート場を整備する際に「市が経費の一部を負担する」ことに「やや反対」「反対」と回答した方にお伺いします。反対の理由は何ですか。



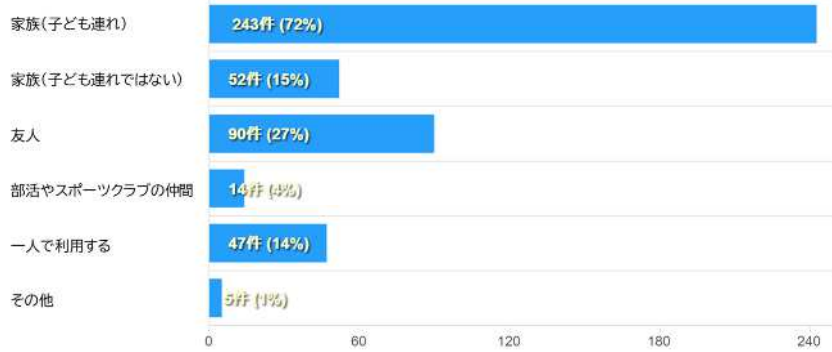
あなたは、アイススケート場が市内にあると利用する可能性がありますか。



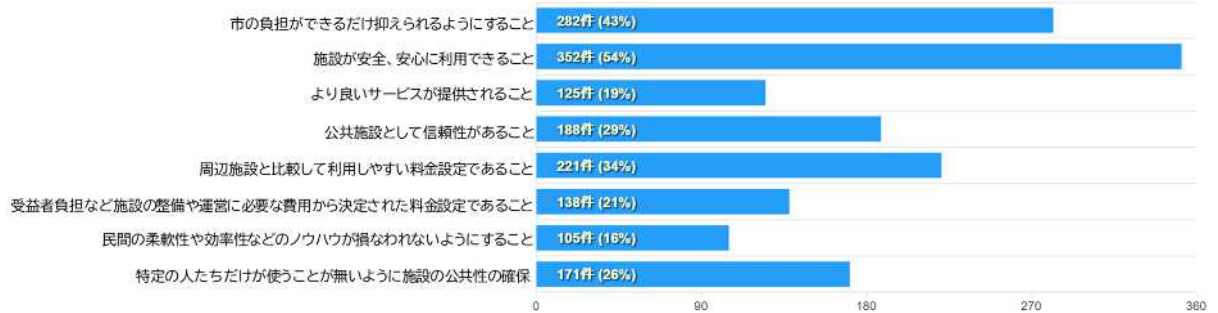
あなたは、アイススケート場を整備すると地域にどのような影響があると思いますか。



アイススケート場が市内にあると「利用する」と回答した方にお伺いします。あなたは、利用する場合はどなたと利用しますか。(いくつでも)



あなたは、アイススケート場の「公設民営」による整備に対し、どのようなことを重視しますか。(3つまで回答)



【自由意見】

総数 168人(※ 意見の数は重複あり)

意見分類	主な意見内容	意見数
教育機会としての重要性	小学校の授業でスケートを体験する機会は貴重で、子どもたちの成長に良い影響を与える。 体育が苦手な子どもにも成功体験を与えるチャンスとなり得る。 など	46
貴重な体験の場としての意義	スケートは場所が限られたスポーツであり、代替が難しいため貴重。 夏場のイベントやプール併用、複合施設化など柔軟な運営を望む声も。 など	40
思い出が詰まった地域の財産	自分や子どもの思い出の場であり、世代を超えた交流や地域の誇りの場となっている。 銀河アリーナをきっかけにスケートに親しみを持った人も多く、文化として根付いている。 など	38
財政の優先順位が違うのでは	給食やインフラ、高齢者支援など他に優先すべき施策が多数ある。 税金をレジャー施設に使うのは理解しがたいとの意見も。 など	42
限られた人しか使わない印象	実際に利用しているのはごく一部であり、公平な市政運営という観点で疑問。 南区などからは遠くアクセスが悪いため、恩恵を受ける市民が限られている。 など	36

(5) スケート教室に関するアンケート調査票

スケート教室に関するアンケート調査

相模原市は、昭和39年から小学生を対象にスケート教室を行っていて、平成3年度に銀河アリーナが開設されてからは、スケート教室を銀河アリーナで行って来ました。

みなさんは、4年生の時に銀河アリーナでスケート教室があったと思います。

知っている人もいますが、銀河アリーナは、令和8年度末(令和9年3月末)に終了することが決定しています。

そのため、相模原市では、今、新しくアイススケート場をつくることを考えています。スケート教室を令和6年度に行った相模原市の小学5年生の意見を聞き、今後の参考にしたいと思います。

(アンケートに答えたくない場合は、答えなくても良いです)

【あなたのことについて】

F1 あなたの通っている小学校を教えてください

1 大沢小学校	2 相模台小学校	3 鶴の台小学校	4 橋本小学校
5 大野北小学校	6 くぬぎ台小学校	7 上溝南小学校	8 串川小学校

F2 あなたは銀河アリーナでスケートをしたことがありますか

1 したことがある 2 したことがない

F3 「したことがある」と答えた人に聞きます。銀河アリーナでスケートをしたのはいつですか
当てはまるものを全て選んでください

1 スケート教室の時 2 スケート教室より前 3 スケート教室の後

【スケート教室について】

Q1 スケート教室を楽しみにしていましたか

1 とても楽しみにしていた 2 楽しみにしていた 3 あまり楽しみじゃなかった
4 楽しみじゃなかった

Q2 スケート教室に行ってみて楽しかったですか

1 とても楽しかった 2 楽しかった 3 あまり楽しくなかった
4 楽しくなかった 5 行っていない

Q3 スケートに友達や家族など、他の人とも行きたいと思えますか

1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う
3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない

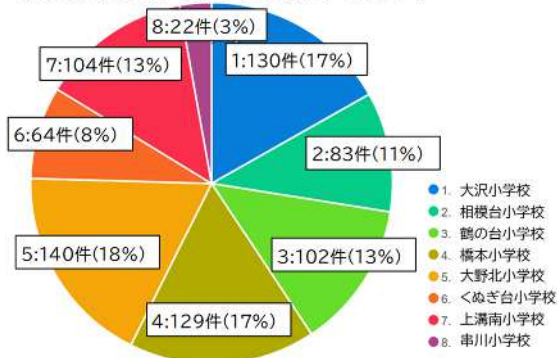
Q4 銀河アリーナが終了した後に、新しいアイススケート場をつくって欲しいですか

1 つくって欲しい 2 どちらかというつくって欲しい 3 わからない
4 どちらかというつくって欲しくない 5 つくって欲しくない

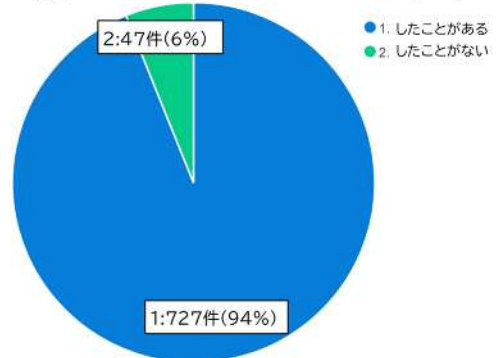
Q5 その他、アイススケート場のことで思っていることがあったら、書いてください

(6) スケート教室に関するアンケート調査 回答結果

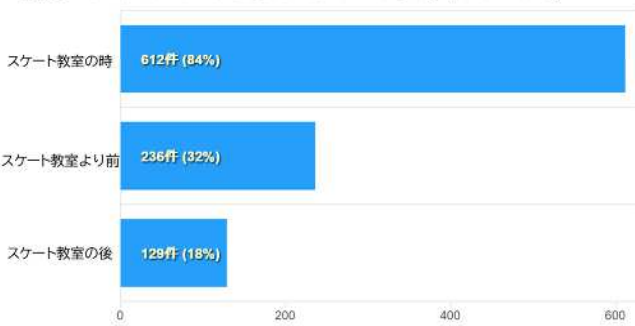
あなたが通っている小学校を教えてください。



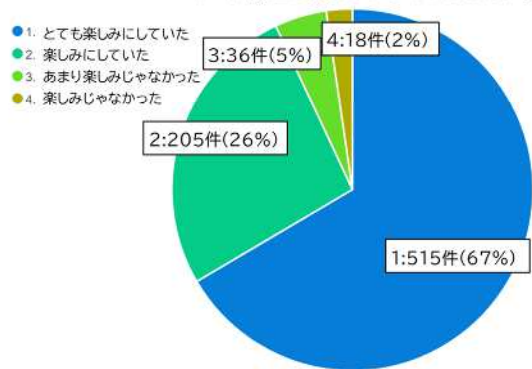
銀河アリーナでスケートをしたことがありますか。



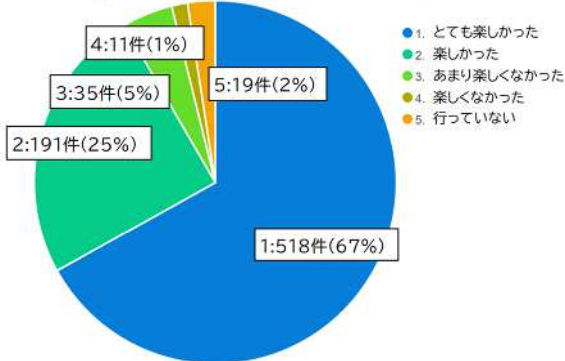
銀河アリーナでスケートをしたことがあると答えた人に聞きます。
銀河アリーナでスケートをしたのはいつですか。(いくつでも)



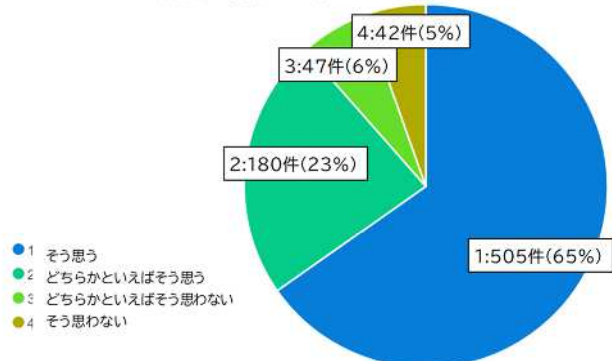
スケート教室を楽しみにしていましたか。



スケート教室に行ってみて楽しかったですか。



スケートに友達や家族など、他の人とも行きたいと思いませんか。



銀河アリーナが終了した後に、新しいアイススケート場を作りたいですか。



【自由意見】

総数 331人(※ 意見数は重複あり)

キーワード	主な意見内容	意見数
楽しかった 作って欲しい	滑ってみてとても楽しかった 新しいスケート場を作ってほしいです など	105
行きたい 思い出	銀河アリーナスケート場をもう100回ぐらい行きたいと思っている 本当に冬滑ることが楽しみでした行ったときそれは最高の思い出になりました! など	36
やりたい	もっとやりたい など	5
行きたくない	もう行きたくない「無理無理無理」	1

(7) オープンハウス型説明会

ア 意見聴取方法

パネルに実施に関する賛否の意思の回答を求める。

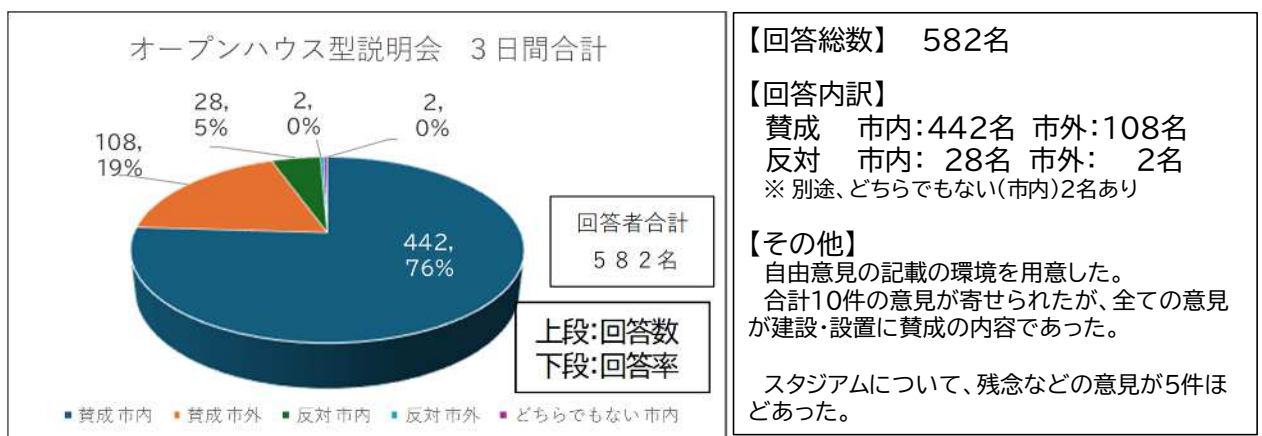
イ 質問事項

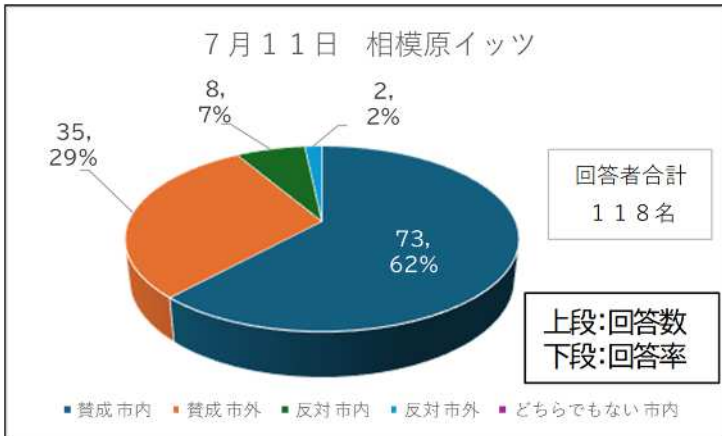
「民間アイススケート場実現可能性等調査」では、独立採算による「民設民営」のアイススケート場の実現性がないことが確認されたことから、相模原市は、民間アイススケート場の設置を断念し、この調査結果を踏まえ、民間事業者の活力を最大限活用した「公設民営」によるアイススケート場の方向性で検討することとしましたが、この相模原市の方針についてどう思いますか？」

ウ 回答方法

市内在住者と市外在住者を色分けし、回答者の年代の欄に「賛成」「反対」の該当する位置にシールを貼る。

(8) オープンハウス型説明会 回答結果





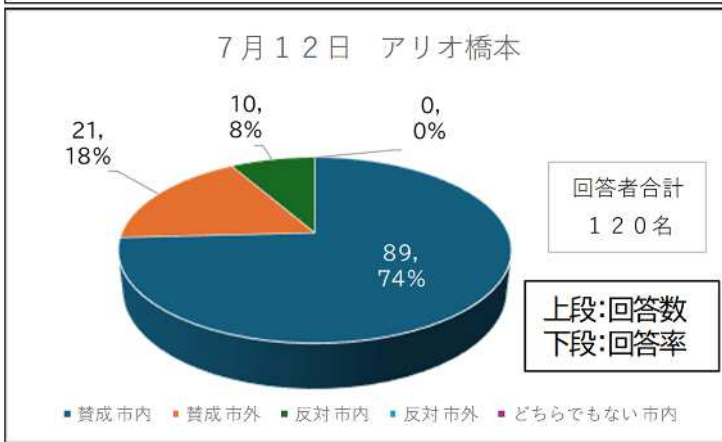
相模原イツ

【回答合計】 118名

【回答内訳】

賛成 市内:73名
市外:35名

反対 市内: 8名
市外: 2名



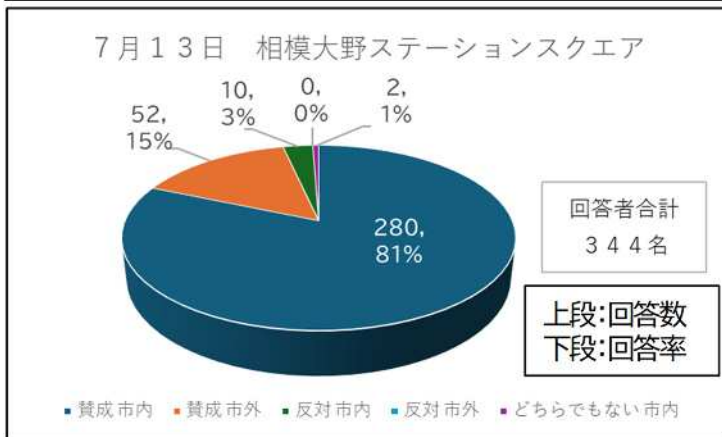
アリオ橋本

【回答合計】 120名

【回答内訳】

賛成 市内:89名
市外:21名

反対 市内:10名
市外: 0名



相模大野ステーションスクエア

【回答合計】 344名

【回答内訳】

賛成 市内:280名
市外: 52名

反対 市内: 10名
市外: 0名

※ 別途、どちらでもない
(市内)2名あり